

血小板数(クエン酸血で測定)		201100			
PLT(PT)		担当部署			
検査オーダー		血液			
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダー手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		CBC に準ずる			
検査受付時間		8 : 15~16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	2 黒小	3.2%クエン酸 Na	1.8	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)凝固した検体 (凝集コメント報告許容) 2) サンプリングできない検体			
保管検体の保存期間		室温・当日中 (追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中			

生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	10 ⁴ /μL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		CBC に準ずる				
臨床的意義		<p>E D T A 依存性偽性血小板減少の発生頻度は 0.1~0.2%で、種々の疾患を有している人、抗菌薬投与患者、自己免疫疾患に多いといわれていますが、健常人にも認められます。その機序の詳細は不明ですが、E D T A が存在すると血小板表面の抗原が変化し、免疫グロブリンが反応して凝集を引き起こすと考えられます。</p> <p>EX 共通 CL1084 : 「三輪血液病学 2006」 1647-1648</p>				